

2025 年度事業計画書（案）

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

1 事業実施の方針

創立 21 年目を迎える 2025 年度は、前年度の事業実績を踏まえつつ、前年度なみの事業展開を計画する。重度障害者コミュニケーション事業の体制については、育児休業から常勤 1 名が復職することから、以前の活動パフォーマンスを担保する人員体制となる。また、宮城県からの委託事業である IT サポートセンター事業を、プロポーザル申請を経て受託継続が可能となったが、仕様書の変更によって新規に取り組む事業内容や変更事項がある。このため、混乱することなく業務を遂行してゆく必要がある。さらに、就労継続支援 B 型事業については、昨年度は利用者の出席率悪化といった不確定要素などにより収益性が極めて悪化したが、引き続き利用者拡大を主眼とした営業活動を積極展開するとともに、web アクセシビリティチェックの収益性を高める努力を行い、収支プラス化を実現したい。その他の事業については、昨年度同様の水準を目標として実施する計画である。また、福祉事業への助成金を視野に入れつつ、新事業の構想協議を図ってゆく。

以下、下表の実施事業について順次 2025 年度の事業計画を示す。

2025 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業

事業名	事業内容	事業名・活動内容
1. IT 支援事業	1. IT 講習事業（宮城県） 2. IT サポート事業 ・仙台市重コミ ・宮城県 3. パソコンボランティア養成等業務（宮城県） 4. IT 支援関連事業	みやぎ障害者 IT サポートセンター事業 重度障害者コミュニケーション支援センター事業 みやぎ障害者 IT サポートセンター事業 みやぎ障害者 IT サポートセンター事業 収入獲得支援（依頼対応） 意思伝達装置等の機器販売
2. 福祉支援事業	1. 自助・自立のための支援事業 2. 福祉支援関連事業	新事業構想協議 福祉名刺/卓上カレンダー等販売
3. 各種委託事業	1. ホームページ更新委託 2. 伝の心カスタマーセンター業務委託	ホームページ更新作業委託 伝の心カスタマーセンター業務/ レンタル品の検品業務
4. 資格認証事業	1. 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証
5. 障害福祉サービス	1. 障害者就労継続支援 B 型事業所	生産活動機会の提供 就労に必要な知識や能力の訓練
6. その他	1. 各種助成金への応募 2. 20 周年記念イベント実施	

1. IT 支援事業

2025 年度計画として、仙台市からの委託事業である重度障害者コミュニケーション支援センター事業と、宮城県からの委託事業であるみやぎ障害者 IT サポートセンター事業に継続して取り組んでゆく。特に後者については、新たな事業内容が含まれる。

1. 1 IT 講習事業（宮城県）

みやぎ障害者 IT サポートセンターを通じ、前年度同様、集合研修である障がい者 IT スキルアップ講習にこれまで通り取り組んでいくほか、宮城県による事業内容仕様書の変更に基づき、今年度計画は下記の通りとなる。

①障害者 IT スキルアップ講習

開催規模として、障害者 IT スキルアップ講習として概ね 1 回 3 時間程度の講習を、県内 7 地域で各 1 回以上、全体で 9 回以上実施し、障害者 IT 訪問講習についてはこれを実施しない。

②支援者向け ICT セミナー（新規）

障害者支援に携わる支援者が ICT 支援の具体的な知識を習得し、支援の幅を拡げ、ICT を活用した障害者の生活支援を充実させるため、最新機器や支援事例等を共有するセミナーを開催する。セミナー開催はオンラインを通じて行い、関係者が参加しやすいようにし、また、事後的に学習できるよう録画データをアーカイブ化する。

今年度は2 テーマ、2 回の開催を年度後半に行うこととする。

1. 2 IT サポート事業

1. 2. 1 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター

昨年度、非常勤 1 名が契約期限を満たし退職となったが、今年度入れ替わりで常勤 1 名が育児休業から復職することで支援事業体制は強化される予定である。育児のための時短勤務の取得期間が流動的ではあるが、昨年度よりもさらに盤石となった人員体制で、仙台市内の重度障害者に対するコミュニケーション支援事業を継続していく。

また、本事業の管轄である仙台市障害者総合支援センターとの打ち合わせを通じ、今年度、注力したい目標を下記の通りとする。

①支援機器等の開発（目標：50 件）

②人材育成（目標：30 件）

③情報発信（ホームページの更新）

①～③に関する詳細は次の通りである。

①支援機器等の開発

現場のニーズに合わせたスイッチの加工・製作、ソフトウェアの制作といった、モノづくりに注力する。昨年度の目標が 50 件に対し実績が 52 件であったため、今年度も 50 件の報告を目指す。

②人材育成

ヘルパー、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等を対象に、講習や勉強会の機会を積極的に設けることで地域との連携を強化し、当事者の療養環境を形成する人材のコミュニケーション支援のスキルアップを目指す。昨年度の目標が 25 件に対し実績が 35 件であったため、今年度は 5 件増の 30 件の報告を目指す。

③情報発信

ホームページを運営することで積極的な情報発信を目指す。一方で、利用者への支援を充実させるために、**ホームページの更新作業については、作業の切り出しを行い業務委託の計画を進める。委託先は、就労継続支援B型事業所「せんだい庵」とし、次年度の障害者の就労に繋げることを目標とする。**

以上の 3 つの取り組みに加え、2022 年度から試行した関連機関へのコミュニケーション機器の貸出しを継続し、本事業と関連性の高い専門職等との連携強化を図る。

1. 2. 2 みやぎ障害者 IT サポートセンター

①相談支援等

2025 年度も、前年度と同じ職員体制を維持し相談支援業務を運営していく。業務内容として、関係支援機関との協力体制のもと、地域の要望を取り入れながら宮城県全域を対象に、訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により、障害のある方のパソコン等の IT 機器の利用支援を実施する。

②障害者 IT ニーズ調査（新規）

宮城県による委託仕様書の変更に伴い、2025 年度事業として障害者の IT ニーズ調査を実施する。**調査実施対象として、県内障害者就業・生活支援センター、県内障害者就労支援事業所、当事者団体等の組織のほか、これまでステップアップ講習やパソコンボランティアの派遣を要請したことのある個人も対象とし、県の連携協力のもと年度前半に実施し、9 月末報告を目指す。**

1. 3 パソコンボランティア養成等業務

前年度に引き続き、宮城県障がい者福祉協会の協力のもとでパソコンボランティア養成業務を実施するほか、パソコンボランティア派遣業務に取り組んでいく。

① 養成業務

県民を対象にしたパソコンボランティア養成講座を、宮城県障がい者福祉協会との連携により取り組んでいく。前年度同様、**受講者数として 5 名程度**を予定している。

②派遣業務

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業である派遣事業を継続する。引き続き、活動を必要としている当事者とのコーディネート。ボランティア保険への加入、活動に要する費用などの支給業務等を担っていく。派遣数については、概ね 50 件程度を見込んでいる。

1. 4 IT 支援関連事業

1. 4. 1 収入獲得支援事業

収入獲得支援事業については、「キーガード製作」を中心に組み組んでゆき、年間 10 件の目標とする。

1. 4. 2 意思伝達装置等の機器販売

前年度に続き対応地域を仙台市内に特化させ、「伝の心」や「オペレートナビ」等の機器、ならびに各種スイッチインタフェース等の周辺機器販売を継続する。これまでの販売実績に鑑み、2025 年度の売上げ目標を 700 万円とする。

2. 福祉支援事業

「自助自立のための支援事業」と「福祉支援関連事業」からなる福祉支援事業として次の通り取り組んでゆく。

2. 1 自助自立のための支援事業

現在の人員体制を考慮に入れ、福祉事業への助成金獲得を視野に入れつつ、新たな支援事業について検討・計画協議を行う。

2. 2 福祉支援関連事業

福祉支援関連事業では、引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続するとともに、販路拡大を図り、100 案件の受注を目指す。

3. 各種委託事業

各種委託事業として下記を実施する。

3. 1 ホームページ更新委託

就労継続支援 B 型事業で取り組む作業をサポートする立場から、ホームページ制作や更新作業に関する委託業務を前年度に引き続き行ってゆく。

3. 2 「伝の心」カスタマーセンター業務委託

委託元であるパシフィックサプライ(株)との関係強化を図るとともに、従来から受託し

ている業務として、「伝の心」に関する電話相談への対応、ならびに委託元のレンタル事業のための検品・整備を継続してゆく。

4. 資格認証事業

新3級に対応し、申請者に対し資格認証を実施する。今年度は**5名程度**を見込んでいく。

5. 障害福祉サービス

障害者総合福祉法に基づく就労継続支援B型事業所「せんだい庵」（1日利用定員20名）を引き続き運営していく。

現在挙げられている課題に対して、以下のように取り組んでいく。

(1) 就労継続支援A型や就労への移行

就労継続支援A型や就労への移行では、フルタイムの週3～5日の勤務が求められる。これまで通り、面談等を通し、体調管理や生活習慣への意識改革を促し、**安定した参加日数・時間の増加を目指していく**。

加えて、通院や日常のケア、障害由来の体力的な問題から従来の**移行で求められる要件を満たすことが難しい利用者に向けて、個人事業主として収入を得ていくためのプログラム作成**を目指す。プログラムの作成にあたり、法人の個人事業主育成情報を参考に、大手のクラウドソーシングサイトから仕事を受注する等して個人事業主として必要なノウハウについて情報収集を図る。

(2) 新規利用者の獲得

2024年度で効果が見られた**周知活動、webページの更新等**を引き続き行っていく。周知活動では効果が高かった相談支援事業所を中心に、本年度より開始される就労選択支援やこれまで周知活動を行ってこなかったデイサービス等の施設にも範囲を広げる。webページに関しては、利用者の声を掲載したところ、反響があったことから、追加して掲載していく。また、当事業所でウェブアクセシビリティの検査業務を行っていることもあり、**JIS X 8341-3:2016に準拠したデザインへ変更**することを計画している。

(3) 出席率の向上

2024年度に引き続き、安定した生活習慣を身に付けるため、体調管理や生活習慣への意識改革・改善を促していく。レクリエーション等を通し、職員や各利用者間でコミュニケーションがとりやすくなる雰囲気づくりを試みていく。また、2024年度で効果が見られた「時給」についても、財源の確保が十分に見込めるため継続していく。

(4) 工賃財源の確保

2024年度まで受託していたプロモート事業web更新作業がなくなり、新たな工賃財源確保が必要となる。また、現在HTML&CSSの学習が済んでいない利用者と学習済みの利用者間の作業量格差を埋めるため、HTML&CSSに依存しない、**PCスキルが低い利用**

者も取り組める作業を用意する。

新たな工賃財源として、現在参加しているウェブアクセシビリティ検査作業を現在より**1.5 倍程度単価の高い WCAG2.2 の検査業務に挑戦**する。HTML&CSS に依存しない PC 作業については、クラウドソーシングサイトから難易度に合わせた作業を受注する。

(5) 平均月額工賃増

2024 年度では、平均工賃月額を 15,000 円以上にすることができた。しかしこれは突発的なアンケート集計作業等の収入があったこと、延べ利用者数が少なかったことが影響している。本年度は、**延べ利用者数が増えた状態で十分な工賃財源を確保し、安定して平均工賃月額 15,000 円以上を維持できる体制を構築**する。

上記をふまえた上で、**年度内に 1 日平均利用者数 8.4 人、平均工賃月額 15,000 円以上を目指す。**

6. その他

6. 1 各種助成金への応募

新たな支援事業の実現可能性を再確認し、福祉事業の助成金獲得を通じた支援事業構築を目指す。

6. 2 20周年記念イベントの実施

法人設立20周年となったため、節目として記念イベントを7月をメドとして開催する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
1. IT支援事業						
1. IT講習事業	(ITサポートセンター) ・スキルアップ講習	4/1-3/31 (別途、日程計画による)	宮城県域	3人	障害者 延べ50人程度	1.2のサポセン支出に反映
2. ITサポート事業	・支援者向けICTセミナー	2025年度 後半2回	オンライン開催	6人	障害者支援従事者 延べ40人程度	
	・ITサポート(重コミュニケーション)	4/1-3/31 (通年)	宮城県域	5人	重度障害者 80人程度	25,310
	(ITサポートセンター)	別途、日程計画による	宮城県域	3人	障害者延べ550人程度	11,773
3. パソコンボランティア養成等業務	・パソコンボランティア養成講座	4/1-3/31 (随時)	宮城県域	10人	一般市民 5人程度	1.2のサポセン支出に反映
	派遣事業	4/1-3/31 (随時)	宮城県域	10人	障害者 延べ50人程度	
4. IT支援関連事業	・収入獲得支援(キーボード製作)	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	障害者10人程度	150
	・意思伝達装置等の機器販売	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局及び障害者宅	1人	ALS等患者 40人程度	5,600
2. 福祉支援事業						
1. 自助・自立のための支援事業	新事業構想協議					
2. 福祉支援関連事業	福祉名刺／卓上カレンダー販売	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	市民延べ100人	250
3. 各種委託事業						
・業務委託	1. ホームページ更新委託	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	3人	障害者支援団体 2ヶ所	50
	2. 伝の心カスターセンター業務委託	4/1-3/31 (通年)	宮城県森林組合会館事務所	3人	障害者延べ200人	3,050

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
4. 資格認証事業						
・重度障害者ICT支援コーディネータの資格認証	・新3級対応 ・申請への審査 ・資格認証	別途日程による	SAN事務局	3人	学生5人	2
5. 障害福祉サービス						
・就労継続支援B型	・生産活動の機会提供 ・就労に必要な知識や技能の訓練	4/1-3/31 (通年)	就労継続支援B型事業所内	4人	障害者 8.4人／日程度 延べ1,880人	14,815
6. その他						
1. 各種助成金への応募	新事業協議と絡めた助成金応募の検討・実施	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	3人		0
2. 20週記念イベント実施	節目を祝うイベント開催	7月吉日	仙台市内	12人		200

2025年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 会費収入			
個人正会員会費収入	150,000		
団体正会員会費収入	200,000		
個人賛助会員会費収入	20,000		
団体賛助会員会費収入	50,000		420,000
2 事業収入			
①IT支援事業収入			
・IT講習・サポート事業収入	38,479,200		
<重度コミュニケーション支援事業>		25,310,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		13,169,200	
・IT支援関連事業収入 I 型	7,500,000		
<支援機器導入支援>		7,000,000	
<収入獲得支援>		500,000	
②福祉支援事業収入	300,000		
・自助・自立のための支援事業収入		0	
・福祉支援関連事業収入		300,000	
③各種委託事業収入	4,260,000		
・ホームページ更新委託 I 型		300,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I 型		3,960,000	
④資格認証事業収入	15,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	17,564,555		
<訓練等給付費収入>		14,594,555	
<就労支援事業費収入>		2,970,000	68,118,755
3 助成金・補助金収入			
	0		0
4 寄附金収入			
	0		0
5 雑収入			
預金利子	1,000		1,000
6 その他			
	0		0
当期収入合計(A)			68,539,755
前期繰越収支差額			-4,106,183
収入合計(B)			64,433,572

科目	金額(単位:円)		
II 支出の部			
1 事業費			
①IT支援事業支出			
・IT講習・サポート事業支出	6,968,000		
<重度コミュニケーション支援事業>		4,018,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		2,950,000	
・IT支援関連事業支出 I 型	5,750,000		
<支援機器導入支援>		5,600,000	
<収入獲得支援>		150,000	
②福祉支援事業支出	250,000		
・自助・自立のための支援事業支出		0	
・福祉支援関連事業支出		250,000	
③各種委託事業支出	1,100,000		
・ホームページ更新委託 I 型		50,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I 型		1,050,000	
④ 資格認証事業支出	2,000		
⑤ 障害福祉サービス(就労継続支援B型)	2,315,000		16,385,000
2 管理費			
人件費	45,514,800		
…人件費:事務局		200,000	
…人件費:コミュ支援		21,292,000	
…人件費:サポセン		8,822,800	
…人件費:支援機器導入支援		700,000	
…人件費:カスタマーセンター I 型		2,000,000	
…人件費:就労継続支援B型		12,500,000	45,514,800
通信費	260,000		
消耗品費	100,000		
備品費	20,000		
旅費・交通費	370,000		
印刷費	5,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	2,300,000		
講習会等参加費	20,000		
交際費(慶弔費)	5,000		
宣伝・広告費	10,000		
支払手数料	10,000		3,104,000
3 雑損失			
	0		0
4 予備費			
	10,000		10,000
5 その他			
短期借入金(七十七銀行八幡町支店・2025年4月返済予定)	3,200,000		3,200,000
当期支出合計(C)			68,213,800
当期収支差額(A)－(C)			325,955
次期繰越収支差額(B)－(C)			-3,780,228

2025年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
I 収入の部			
1 訓練等給付費収入	14,594,555		
平均利用者数:8.4名/日			
利用日数:237日/年			
作業時間:4時間/日			
訓練等給付金:7,331円(1日当たり換算)			
			14,594,555
2 就労支援事業費収入			
①IT支援事業収入			
・IT支援関連事業収入 II型	300,000		
<支援機器導入支援>		0	
<その他(印刷関連、データ入力等)>		300,000	
②各種委託事業収入	500,000		
・ホームページ更新委託 II型		500,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 II型		0	
③その他	2,170,000		
			2,970,000
当期収入合計(A)			17,564,555
前期繰越収支差額			-17,565,474
収入合計(B)			△ 919
II 支出の部			
1 事業費			
①工賃 一人当たり15,000円/月	1,100,000		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
②就労支援事業費	100,000		
			1,200,000
2 管理費			
従業員給与	12,500,000		
支援員3人分		11,000,000	
支援員3人分 事業所負担保険料		1,500,000	12,500,000
事業所賃貸料(光熱費込)	600,000		
通信費	90,000		
消耗品費	150,000		
交通費	20,000		
PCリース	10,000		
備品費	0		
保険料	180,000		
研修会等	20,000		
印刷費	35,000		
交際費	5,000		
支払手数料	5,000		1,115,000
当期支出合計(C)			14,815,000
当期収支差額(A)-(C)			2,749,555
次期繰越収支差額(B)-(C)			-14,815,919